

第 51 回 松永杯争奪中西部中学生サッカー大会 要項

2022/4/22

(兼 第43回静岡県中学生サッカー選手権大会 中西部地区予選)

1. 主催 静岡県サッカー協会中西部支部
2. 主管 静岡県サッカー協会中西部支部第3種委員会
3. 期日 令和 4 年 4 月 23 日 (土) ・ 24 日 (日) ・ 29 日 (金)
30 日 (土) ・ 1 日 (日)
4. 会場
23 日 (土) 1回戦 志太榛原地区各中学校
24 日 (日) 2回戦 志太榛原地区各中学校
29 日 (金) 3回戦 志太榛原地区各中学校
30 日 (土) 準決勝、敗者戦 横井人工芝グラウンド
1 日 (日) 5決、3決、決勝 藤枝多目的グラウンド 3回戦
藤枝多目的グラウンド 準決勝・3決・決勝
金谷人工芝グラウンド 敗者戦・5決
5. チーム数 中西部地区で3種登録を行った中体連チーム(24チーム)
6. 参加料 5,000円(1,000円札5枚を、4月14日(木)予定の中西部3種部会で提出)
7. 参加資格 2022年度日本サッカー協会に第3種登録予定のチームであること。
(11人に満たないチームの合同を認める。)
8. 競技上の規定及び方法
 - (1) 競技規則 ・ 本年度の日本サッカー協会の競技規則による。
 - (2) 使用球 ・ 試合球は運営本部で用意する(各会場2球)。
 - (3) 大会方式 ・ 出場24チームによるトーナメント方式
・ 60分で勝敗が決しない場合は、延長戦は行わずPK戦とする。
ただし、5位決定戦のみ5-5の延長戦を行い、その後PK戦とする。
・ 感染症対応などにより出場ができなくなった場合は棄権とする。
大会日程の変更は行わない。
 - (4) 組合せ ・ 昨年度の大会結果を参考に第1、第2、第3ポットを決定し、トーナメントは抽選により決定する。
 - (5) 試合時間 ・ 60分ゲーム(30-5-30)
コロナ感染拡大防止対策として、すべての試合(時季を問わず)において前半・後半それぞれ半分が経過した時間(主審が適切なタイミングと判断した時間)で飲水タイムを設ける。
 - (6) メンバー票 ・ 初戦の会場において、メンバーチェックを本部にて行う。チーム代表者は、JFA KICK OFFから印刷したメンバー一覧表、もしくはスマホアプリで選手が確認できるように準備しておく。
・ 各試合の登録人数は最大30名とし、試合開始30分前までにメンバー票に先発選手11名に○をつけ、本部に1部提出する。
 - (7) ベンチ ・ ベンチ入りできる人数は登録された選手のうち20名とコーチ・スタッフ3名とする。
メディカルトレーナーは「トレーナー証」を着用し、ベンチ横または後ろに待機。
ベンチには入れない。
 - (8) 選手交代 ・ 9人までの再交代制を適用する。
・ GKについては、チームにGK登録が1名しかおらず、怪我等で出場ができなくなった場合、FPが異なる番号のユニフォームを着用してGKとして出場することを認める。
また、試合に出場していたGKユニフォームを借りての着用も認める。
その際、パンツとストッキングはFPと同じものでもよい。
・ PK戦において戦術的にFPが自分とは異なるGKユニフォームを着用しての出場を認める。その際、パンツとストッキングはFPと同じものでもよい。ただし、GKとして出場できる選手は、PK戦になる前に試合に出場していた選手とする。

- (9) 警告・退場 大会を通して、退場ならびに累積警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。なお、著しくルールに反した行為により退場処分を受けた選手が出た場合は、審判もしくは会場責任者が大会責任者まで連絡をし、同日もしくは後日、規律委員会を開き、その後の処分を決定する。

【規律委員会】

3種委員長、同副委員長、審判委員長、
藤枝地区長、焼津地区長、島田地区長、榛原地区長

- (10) ユニフォーム等
- 1 ユニフォームは正・副の色彩が異なり判別しやすいチーム標章（チーム名、エンブレムまたはその両方）が入っているものを原則GK2着、フィールド2着用意するのが好ましい。また、胸・背番号を入れること。
 - 2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。（ビブス等で揃えることも可。ただし、メンバー票と同じ背番号のビブスを着用すること）
 - 3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でよいものとする。
 - 4 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
 - 5 アンダーシャツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - 6 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

- (11) その他
- ① 上位5チームが、県中学生サッカー選手権大会（5月予定）に出場する。
なお、3年生が修学旅行で県大会に出場できない場合、1・2年によるチームの出場を認める。
 - ② 上位チームは、中体連志太榛原大会のシードの対象とする。
どのようなシードの対象になるかは、中体連志太榛原大会の要項による。
 - ③ 予選において、天候により当日の試合が危ぶまれる場合は、運営委員会が藤枝中学校に朝6:00に集まり、会場校の顧問と連絡を取りながら決定を行う。

【運営委員会】

3種委員長、副委員長、藤枝中顧問
藤枝地区長、焼津地区長、島田地区長、榛原地区長
※各会場校顧問は会場で待機し、状況を連絡できるようにする。

- ④ 雷雨や暴風雨等で試合が続行できない場合は、会場責任者と会場で試合を行っている監督者で協議を行う。
 - ・ 台風の襲来等、競技が行えない悪天候が長時間続く場合には、予め延期する。
 - ・ 試合中の雷鳴によって試合を中断した場合は、雷鳴、雷光が止んでから20～30分以上経過してから再開する。試合時間・スコア等は中断時からとする。
 - ・ 落雷の危険性や暴風雨等の理由で開始後に試合を中断する場合には、後日、中断をした時点の状況から再開するものとする。
 - ・ 雷鳴等で中断をし、そのまま日没になってしまった場合は、予備日に中断した状況から再開する。また、中断した試合以降に消化していない試合があれば、同様に予備日に行う。
 - ・ 予備日に雷鳴等で中断し、日没で試合続行が不可能になってしまった場合は、前半が終了していれば試合成立とし、その時点でのスコアをもって結果とする。前半が終了していない場合は、臨時措置として後日会場を確保し、中断時から試合を再開する。
 - ・ 再開する試合は、審判団もそのままが望ましいが、諸事情により審判が行えない者が出た場合には、その審判と同チームから代理を立てる。

中断をした場合は、その時の状況（時間、ボールの位置、出場選手など）を、同じ状況で再開できるよう記録しておくこと。

⑤ 組合せ左(上)側のチームが、本部から見て左側のベンチに入る。

⑥ ゴミはすべてチームで責任をもって持ち帰ること。

(12) 感染症対策 JFAのガイドラインを基本とし、各チーム、各会場で徹底して行う。
詳細については別紙「第3種チームにおける感染症対策」を参照。
不測の事態への対応については、役員会での協議の結果をもって決定とする。

(13) 連絡先 藤枝市立葉梨中学校 大石朋宏
学校電話 054-638-0003
学校FAX 054-638-0014
携帯 090-7026-0265